

06 その他

6-1 キャッシュデータの削除

6-2 アカウント統合機能



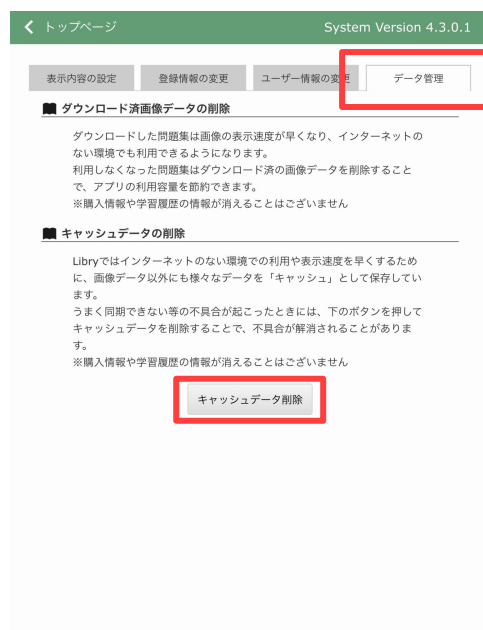
オフラインでの利用は
できません

6-1 キャッシュデータの削除

Libryにログイン時や操作中に、「同期中」から進まないなどの不具合が発生した際、キャッシュデータの削除をお試してください。

キャッシュ削除の最中には、以下2点のご対応をお願いします。

- 【1】Libryを強制終了しない。
- 【2】別のアプリを立ち上げない、操作しない。



ホーム画面右上の【人型】マークのボタンをクリックし、【個人設定】をクリックしてください。

[データ管理]タブをクリックし、【キャッシュデータ削除】ボタンをクリックしてください。



キャッシュ削除中は上記の通りメッセージが表示されるため、Libryを強制終了したり、別のアプリを立ち上げるなどせずお待ちください。

「キャッシュデータ削除が完了しました」というメッセージが表示されれば、キャッシュ削除は成功です。

オフラインでの利用は
できません

6-2 アカウント統合機能

進学や転校などで、LibryのログインIDを2つ以上お持ちの場合は、アカウント統合機能で統合することができます。

注意:アカウント統合を行うと、統合元のログインIDとパスワードは無効になり、ログインできなくなります。

例えば、

- ・A高等学校でLibryを利用していた
- ・春からB高等学校へ転学し、転学先で新しいLibryアカウントが発行され、手元にログインIDが2つ存在する
- ・B高等学校のアカウント(統合先アカウント)へ、A高等学校のアカウント(統合元アカウント)を統合し、ログインIDとパスワードを一つにまとめる

アカウントを統合する際に必要な情報:

- ・統合先アカウントのパスワード ※継続して使う
 - ▷例の場合は、B高等学校のパスワード
- ・統合元アカウントのログインID
 - ▷例の場合は、A高等学校のログインID
- ・統合元アカウントのパスワード
 - ▷例の場合は、A高等学校のパスワード

アカウント統合によって統合されるデータ:

- ・所持している問題集 ※同じ問題集を所持している場合、有効期限は長い方が残ります
- ・学習履歴
- ・学習状況カレンダー
- ・問題集への書き込みデータ、しおりデータ
- ・お気に入り登録した問題
- ・問題検索で保存した条件
- ・宿題 ※先生からのコメントやスタンプも残ります
- ・宿題の進捗情報
- ・Google連携(Google SSO)情報
- ・ノート連携した写真データ

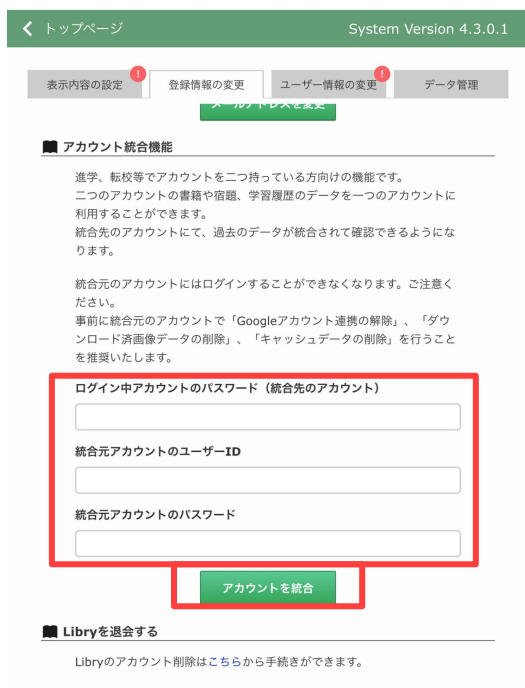
6-2 アカウント統合機能



ホーム画面右上の【人型】マークのボタンをクリックし、【個人設定】をクリックしてください。



[登録情報の変更]タブをクリックし、「アカウント統合機能」まで下へスクロールしてください。



案内文をよくご確認いただき、必要な情報を入力してください。
※統合が完了すると、統合元のアカウントにはログインできませんので、ご注意ください。

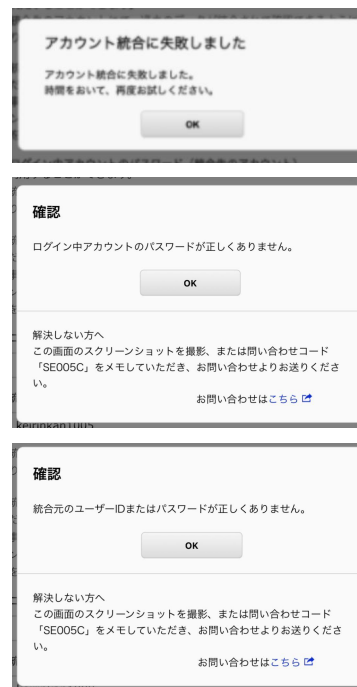


【アカウント統合】ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。問題がなければ【統合する】ボタンをクリックしてください。

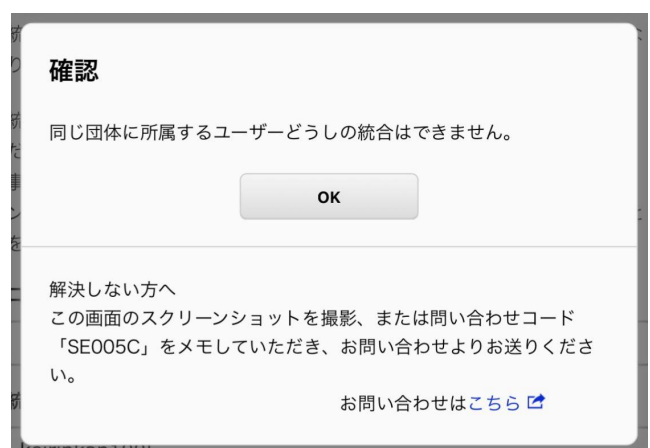
6-2 アカウント統合機能



アカウント統合が成功すると、Libryのログイン画面に戻ります。
統合先のログインIDとパスワードを入力し、再ログインを行ってください。



アカウント統合に失敗した場合は、メッセージが表示されます。内容を確認し、再度操作を行ってください。
※どうしても統合が正常通り完了しない場合は、Libryへお問い合わせください。



いたずら防止のため、同じ団体(学校)に所属するログインID同士では統合ができないようになっております。
この場合は、Libryへお問い合わせください。